

街を行く

第29回 堺 Sakai

自治都市バンザイ!

大阪市の南を流れる大和川を渡ると堺に着きます。戦国時代から有名武将に愛された日本初の自治都市です。上方の大商人(おおあきんど)による富と名声づくりの競いあいがこの街の繁栄をもたらしたのも事実ですが、それらを手に入れた彼らが次に求めたものは文化でした。ただの商人では物足りなくなり芸術を愛しだしたのです。それが成功を誇示する物差しと想っていたのでしょう。これは古今東西変わらぬことであって、ヨーロッパの王侯貴族や大富豪が音楽家や芸術家のパトロンとなって、後世に素晴らしい作品を残させたことでも解るでしょう。

ただし堺はそれだけではなく、大商人自らも芸術家となり名声を得たことです。その代表格が「千利休」ではないでしょうか。彼の存在は別格であり、芸術のためには妥協を許さず、時の権力者・豊臣秀吉に屈せず死を選んだのですから。こんな商人は世界広しと言えど稀な存在です。大方の商人は時の権力者に賄賂を渡し、その引き換えに御用商人となり富を築くのですから。いや、これは時代劇の見過ぎですね。とにかく堺の商人は自分達の手で自ら地域を治めるといふ独立国家の様な真似事をしていたのです。これを容認していた時の権力者も立派ですよ。橋本市長、大阪には昔から地方分権の魂が根付いていたのですね。

堺にやって来るには、大阪の中心地からは「南海電車」に乗ります。この南海電車と言うのは大阪と和歌山を結んでいまして、弘法大師が開いた真言宗の大本山がある高野山までへも伸びています。小生などは



芸術のためには妥協を許さなかった堺の商人千利休の居宅跡(写真左)と、与謝野晶子の生家「駿河屋」跡(写真右)。繁栄したまちは、芸術家を生む土壌になるのか

子供の時には「南海ホークス」(今の福岡ソフトバンクホークス)を所有していた鉄道会社として馴染みが深いのです。あの野村監督はこのチームの看板打者で、昔は小生も憧れていたのですよ。昔はそれなりにかっこ良かったのですが、大阪出身の身としては色々思い入れがあり直ぐに脱線してしまいます。

明治時代にもこの堺が生んだ有名な女性歌人がいます。それは「与謝野晶子」です。彼女の実家は今でも有名な和菓子の「駿河屋」です。生家のあった場所は今では道路拡張によって国道になっています。昔の町並みを古い地図で調べたのですが、この街は都市計画がきちりとなされていたのです。城下町の様に戦を想定した物ではなく、あくまでも商人の町として自由闊達に道路が東西南北に伸びているのです。それには堺人の気骨と権力に屈しない

心意気を感じました。自治都市バンザイですよ!今回は歴史探訪の様になってしまいましたが、この様な訪れかたも良いものです。

南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年株式会社ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。

BLOG「南一弘の負けない不動産投資」
http://blog.livedoor.jp/minami_kazuhiro